

本学環境園芸学科 新谷教授が手づくり

昆虫、折り紙作品 国際会議で特別展示

このたび、南九州大学環境園芸学科の新谷喜紀教授(昆虫生態学)が研究発表を行う、第27回国際昆虫学会議(International Congress of Entomology、以下 ICE)の会場において、新谷教授自作の「昆虫、折り紙作品」を特別に展示いただくことになりましたので、お知らせします。

新谷教授は長年、「昆虫の生活史に環境が及ぼす影響」等について研究しており、今会議では「キオビエダシヤク」に関する研究を発表予定です。折り紙作品は、新谷教授が主著者として携わった論文で研究対象となった昆虫16種(キオビエダシヤクやハスモンヨトウなどが類、キボシカミキリなどカミキリムシ類、カメムシ類など)をメインに、大型のカブトムシなど世界各地の固有種約100種も展示予定で、作品総数は約150種200個体となる見通しです。このほか、会場では来場者向けに折り紙体験の準備も進めております。

なお、ICEは下記日程で開催されますが、折り紙作品の展示、体験は27日のみとなります。世界中の昆虫学者が一堂に会する貴重なこの機会に、日本の伝統文化「Origami」を通じた交流を行う新谷教授らの取り組み等について、ぜひ取材をご検討いただけますと幸いです。

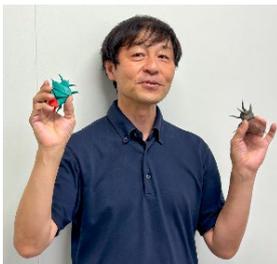
※本リリース裏面に、会場に展示予定の新谷教授の折り紙作品をご紹介しますのでご覧ください。

記

日時 2024年8月25日(日)～8月30日(金)
場所 国立京都国際会館(京都市左京区岩倉大鷲町422)
備考 日本昆虫科学連合主催。作品展示はメインホール入口付近を予定

■国際昆虫学会議について(日本昆虫科学連合HPより)

世界の昆虫学者が一堂に会する4年に1度の最大規模の国際学会です。1910年にベルギーのブリュッセルで第1回が開催されて以降、第二次世界大戦の混乱期を除いて、ほぼ4年に1度のタイミングで開催されてきました。日本で開催されるのは、京都でアジア初の会議が開かれて以来、44年ぶりとなります。なお、今会議には3700人の昆虫学者(大学院生等も含む)が参加予定です(7月上旬時点)。



■新谷教授のコメント

ICEではこれまで、開催国特有の昆虫の生態展示や昆虫採集ツアー、写真展などが実施されてきました。4年に1度開催される大きな学会なので、研究成果発表はもちろん、論文でしか知らなかった国内外の研究者にお会いする貴重な機会となります。例えば、野球のメジャーリーガーを目にするような感覚です。研究発表と折り紙作品を通じて、多くの方と交流することをとても楽しみにしています。

南九州大学環境園芸学科・新谷教授が折りあげた、ICE で展示予定の `昆虫、折り紙作品(一部)



▼新谷教授の研究や折り紙作品は、下記南九州大学 HP やインスタグラムでもご覧いただけます。

* 昆虫の生活史に関する論文

<https://www.nankyudai.ac.jp/news/16798/>

* 雄生まれないウイルス

<https://www.nankyudai.ac.jp/news/22762/>

* 昆虫折り紙名人

<https://www.nankyudai.ac.jp/news/21721/>

